

今年度のあおりんプロジェクト

■総合経営学部経営学科

- ・3年 田中 孝太郎さん（青森商業卒）
「『青森大学』ブランドの日本酒づくりプロジェクト」
- ・2年 長谷川 拓海さん（クラーク記念国際高校卒・秋田県）
「ビジネスプラン商品化プロジェクト」

■社会学部社会学科コミュニティ創生コース

- ・4年 丹治 晶さん（湯本高校卒・福島県）
「AOMORI Workation
～“関係人口”を作って青森を活性化！～」
- ・4年 中居 彩佳さん（八戸東高校卒）
「釜石で学ぶ！ワーケーションの極意！
帰釜会でナイトキャンプ！」
- ・4年 平山 裕樹さん（青森山田高校卒）
「あさむし月末マルシェ
with 光るボールでナイトゴルフ」
- ・3年 鈴木 流由さん（五所川原高校卒）
「津軽線プロジェクト」
- ・1年 沼澤 幸織彩さん（田名部高校卒）
「子どもの居場所お助けプロジェクト」

■社会学部社会学科福祉コース

- ・2年 村元 亜実さん（弘前実業高校卒）
「語り合おう、障がい者が自分らしく
『生きる・働く』地域社会を」
- ・2年 塩崎 佳那さん（青森山田高校卒）
「高大連携による三陸復興応援事業」

■ソフトウェア情報学部ソフトウェア情報学科

- ・3年 佐藤 成さん（青森山田高校卒）
「青森大学、青森公立大学サークル合同ライブ」
- ・2年 渡辺 叶愛さん（田名部高校卒）
「下北ジオパーク探求プロジェクト」
- ・1年 菅野 文香さん（橘高校卒・神奈川県）
「3Dプリンター可能性追求プロジェクト」

■薬学部薬学科

- ・6年 小甲 絢斗さん（函館稜北卒・北海道）
「北海道・東北の植物抽出物の炎症における
免疫細胞への効果の検討」
- ・3年 木村 響さん（N 高校卒）
「『あおしやみ』普及プロジェクト」

※氏名はプロジェクト代表者名のみ記載

学生の思いカタチに あおりんプロジェクト

後援会と学生課が主催する学生の自主的な企画に対する助成事業「あおりんプロジェクト」は、2017年度から始まり、今年7年目を迎えた。毎年個性豊かな企画が応募される本企画。今年度は昨年度を大幅に上回る応募があり、14件が採択され活動を行っている。



会議での村元さん

例えば、村元亜実さんが代表を務めるプロジェクト「語り合おう、障がい者が自分らしく『生きる・働く』地域社会を」では、県内の障害福祉サービスの現状について情報収集を行う。障がい者だけでなく、一般市民にとっても障害福祉サービスの存在や役割が十分に認知されていない。そこで、障害福祉サービスの到達点と今後の展望を語り合うためのシンポジウムを開催する。このシンポジウムによって、障害福祉事業者同士の情報交換や連携を促進し、社会全体で障害福祉サービスが利用しやすい環境づくりを目指す。



部員を指導する木村さん

木村響さんが代表を務める三味線部は、2年前に創部し、市内各所に声掛けをして、様々な場所やイベントで演奏してきた。現在では、演奏依頼が増えて活躍の場を広げている。本プロジェクトでは、訪問公演などを増やし、三味線を楽しんでもらう機会を増やし、レベルアップを目指している。また、大学祭へ向けて、三味線の練習を重ねるとともに、部員に薬学部生が多いことを活かし、美味しい薬学実験の準備も進めている。

県内教育機関で初 カーシェア導入



説明を受ける総合経営4年 岩淵緒久斗さん[Ⓔ]（尼崎西高校卒）

15分187円 『バスより安い!』

県内の教育機関として初めて、学生向けのカーシェアサービスが本学青森キャンパスに導入された。青森キャンパスは青森市郊外に位置するため、マイカーがない学生らは自転車や徒歩やバスで、または車を所有する友達に相乗りさせてもらい移動することがほとんどだ。今回カーシェアが導入されたことにより、授業のフィールドワークやサークル活動、個人的な用事等での利用が見込まれ、手軽に移動手段をレンタルできるようになった。

利用料金は、15分187円。利用者は専用アプリをダウンロードし、スマートフォン1台で予約から支払いまですべて行える。24時間利用可能で、ガソリン代の負担がなく、もしもの事故などの際の保険も万全の体制となっている。学生の生活満足度向上につながる。と期待される。

利用した学生は「このように便利なサービスを待っていました。しかもバスより安いです。サークルやプライベートで利用したいと思います。」と話していた。